

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

久喜市立本町小学校

【取組内容①】 Googlesiteを使った個別最適な学びと協働的な学び

Googleサイトを使い、1つの単元の内容を集約し、児童の考えをスライドにまとめた。

スライドを使うことによって上位の児童は教科書や動画を参考にしながら課題に対する考えをまとめ、下位の児童はそれを参考にしながらまとめることができた。

また、上位の児童は中位以下の児童の補助に回ったり、動画を見ながら自由に学習に取り組んだり、下位児童は教師と一緒にゆっくりと学習に取り組んだりすることができた。

その結果、Googleサイトを使っていなかった1学期は知識・技能でAの児童が11名、思考・判断・表現でAの児童が6名、総合的にAの児童が9名だったのに対し、Googleサイトを活用した2学期は知識・技能でAの児童が11名、思考・判断・表現でAの児童が10名、総合的にAの児童が11名と、思考・判断・表現力の伸びが見えた。



米のとれくあいを比べるにはなにが分かればよいのか説明しよう
面積と、米の取れた多さが分かれればいい

A式570➗11=51.81818182を四捨五入して52
A52キログラム
B式680➗14=48.5714285714を四捨五入して49
A49キログラム

A
Aの畑のほうが取れている

なぜこの答えになるのかという点とまず570➗11の答えを四捨五入して52になります。次に680➗14の答えを四捨五入して49答えは大きいほうが取れているのでAの畑になります。